2022－2023 東日本区 理事通信

3月号 Vol.9

ワイズメンズクラブ国際協会東日本区　　東京都新宿区四谷本塩町２番 11 号日本 YMCA 同盟会館２階

“Let's act now for the future”　“Do something for someone and have an enjoyable club life for yourself !”
「未来に向けて今すぐ行動しよう」　「誰かのために奉仕して　自分のための楽しいクラブライフを！」

理事メッセージ

2022-2023年度 東日本区理事
佐藤　重良（甲府２１）

TOFの献金が貢献しているプロジェクト

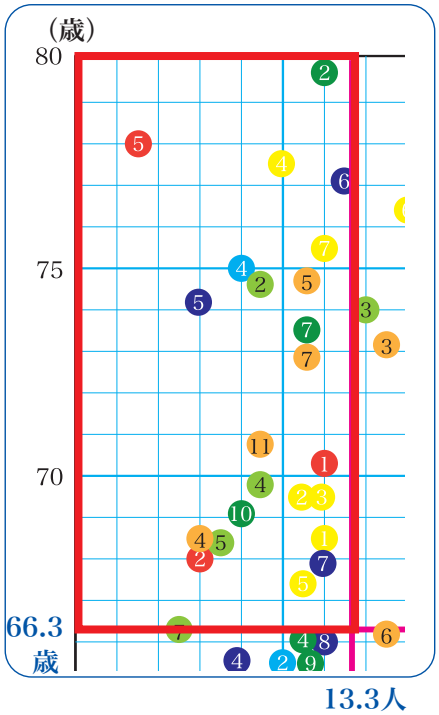
TOFは毎年2月を強調月間と定めて活動しています。活動の内容は「例会･集会等の食事を抜いたり、いつもより質素なものにして、その差額を献金」するものです。東日本区では800名（2021年度）の会員から毎年793,000円（2022年6月決算より毎年ほぼ同じ金額）の献金がされています(1,000円/会員一人当たり)。その全額を国際協会（スイス本部）へ送金しています。本部では全世界から集まった献金を集計し、TOFの事業に割り当てます。毎年世界各地のクラブ・YMCAからのTOFの事業申請書を受けて、（今年は3月15日が締め切り）プロジェクトの内容と金額が国際議会で審議され、決定されます。2022年の承認のプロジェクト９件の決定がありました。９件の合計金額は117,777スイスフラン（約17,000,000円）となっております。東日本区の会員各位からの平均約1,000円の献金が、世界の貧困者の救済支援・子供の教育・女性の教育、ジェンダー運動など、いろいろなプロジェクトに活用されております。私達クラブ会員の一人一人が力を合わせ800人の大きな力となり、世界の困っている人々の役に立っているのです。ワイズの誇りです。これからも無駄を省き節約し献金を続けましょう。［注・過去３年間の承認プロジェクト（田中博之アジア太平洋地域TOF事業主任作成）を巻末に掲載致しました。］

ワイズメンの友情で､困っているクラブを支援しよう

現在東日本区のクラブ数は59クラブですが、最近になってクラブの解散の相談が３件あります。

その理由は、高齢化と病気療養のため等で、例会に出席出来ない。7、8人のクラブであるが、例会に出れるのは２人くらいで、例会にならない。クラブ役員の引き受けも出来ないので２年も会長・書記・会計等一人でやらざるを得ない状況にある等です。右の分析データーをご覧ください。１クラブの平均年齢が７０歳以上でクラブメンバーが１０人以下のクラブはこの先高齢化がさらに進みますので、ますます厳しいものになってゆきます。

▶そこで今すぐに、各部内で困っているクラブの支援策を考えていただきたいと思います。
例えば、合同例会、行事の協働実施、クラブの合併、クラブのブリテン・会計などの支援、EMCなどの支援を等、仲間の友情のために、ワイズ運動継続のためにみんなで知恵を出し存続を考えていただきたいです。



クラブ平均年齢と会員数

左図は、縦軸に「クラブ平均年齢」横軸に「クラブ会員数」をとり、クラブごとにプロットしたものです。

その中で、東日本区全クラブの平均値である①平均年齢66.3歳以上②平均会員数13.3人未満のエリアを赤で囲ったものです。換言すれば、少人数、高齢化しているクラブということになります。［詳しくは巻末P10-11］

目次

佐藤理事メッセージ	1
地域奉仕・ＹＭＣＡサービス事業主任より	2
東日本区書記からのお知らせ	2
ワイズメネット委員長より	2
会員増強事業主任より	3
国際・交流事業主任より	3-4
ユース事業主任より	4
次期クラブ会長・部役員ワークショップ報告	5-6
トルコ・シリア大地震緊急支援募金	7
YMCA報告	8
3月4月以降の予定	9
国際選挙の結果	9
東日本区事務所便り	9
為・参考　クラブ会員数と平均年齢	10-11
為・参考　ＴＯＦプロジェクト	12-14
第26回東日本区大会ご案内	15

今月の強調月間　CS　グリーンプロジェクト　ワイズメネット

地域奉仕・YMCAサービス事業

地域奉仕・ＹＭＣＡサービス事業主任　**小山久恵**

3月は強調月間：CS(Community Service)、グリーンプロジェクト、ワイズメネットです。
まずはCSについてご案内します。

◇活動としてのCS(地域社会奉仕)
　各クラブは区のCS資金の募金・運用活動に参加すると共に、関係YMCAと協力してその地域社会の求めに応える奉仕活動の実践を心がけましょう。従ってCSとは、大は地域社会の、小は近隣社会の隣人への奉仕活動であるといえます。
◇CS資金の募金・運用活動
　お年玉付き年賀ハガキの当選切手シートを拠出することにより集められて来ましたが、近年一人当たりの目標額が定められたことにより現金での拠出が増えて来ています。東日本区の目標額は1,250円です。東日本区では主として日本YMCA同盟の申請に基づき支援し、部によっては部内各クラブのＣＳ活動を支援するために、クラブから申請のあった事業内容を検討して、助成金を配分しています。
　この2-3年はコロナ禍の影響で、多くのスポーツ大会やコンテスト等が中止となりました。そんな状況の中、コロナで困っている人々に目を向け、こども食堂などで支援を行うクラブが出てきました。また、戦場となったウクライナ、大地震の被害を受けたトルコ、シリアへの募金もよろしくお願いします。

次にグリーンプロジェクトについて。
◇グリーンプロジェクト
　ワイズメンズクラブ国際協会は、地球環境保護への取り組みを進め、カーボンニュートラル（活動に伴う温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させる）な組織となることを決意しました。国際大会、地域大会参加者に、一定のカーボンニュートラル献金を求めたり、YMCAの様々なプロジェクトを支援してきました。このプロジェクトの例として、ワイズ・アジア太平洋地域の支援によるフィリピン・マカティYMCAの太陽光発電システムの設置が挙げられます。
　ワイズ運動その他に関わる二酸化炭素排出削減のプロジェクトに関して、最大5,000スイスフランの援助を国際協会から得ることができます。支援申請の締め切りは3月15日です。
田中博之さん（東京多摩みなみ）の文章を引用させていただきました。

ワイズメネット会とは？

ワイズメネット委員会委員長　松村仁子

「ワイズメネットってなんでしょう？」
○ワイズメンズクラブ男性会員のパートナー（夫人）のことです。
「どんな役割があるのでしょうか？」
○第一はワイズメンの活動に協力することです。
◇私の夫の所属する甲府21はワイズメネット会を設けています。しかしながら今コロナ禍でYMCAやワイズメンズクラブの種々のプログラムが実行されていません。ワイズメネット会も休止しています。ワイズメネットについてもっとオリエンテーションの機会を作り新しく入会されたメンのパートナーの方々にも協力していただけることを願っています。
◇また、ワイズメネットはクラブだけでなく東日本区という大きな組織の一員でもあります。東日本区の中にあるワイズメネット委員会（現委員長　松村仁子）が企画する国際、国内プロジェクトへの協力、推進を行っています。再び楽しい活動が始められることを祈りつつ待ちましょう。

東日本区　書記からのお知らせ

東日本区書記　清藤城宏

1【臨時常任役員会報告】
　2月12日（月）19時から20時15分、Zoomによるオンライン会議で臨時常任役員会が実施されました。出席者は7名。協議はクラブ解散申し出、トルコ・シリア地震災害、YES支援金規定、次期クラブ会長・部役員研修、第3回役員会開催等

2【2月常任役員会報告】
　2月27日（月）19から21時、Zoomによるオンライン会議で実施。出席者は常任役員5名、監事2名、理事からの出席要請者９名。
　主な協議事項はCS/ＹサーASF資金運用規定の改定、資金支援申請、LT委員長再任、トルコ・シリア緊急災害募金、第3回役員会、第26回区大会等

3【年次代議員会告示】

東日本区理事 佐藤　重良

2022-2023年度の年次代議員会は、第26回東日本区大会に合わせ 2023 年 6 月3 日（土）午前 11 時 00 分から対面方式で開催されることを、東日本区定款第 6 条第 7 項に基づき公告いたします。
　代議員会は東日本区における最高立法機関ですので、すべてのクラブ会長、部選出代議員および人数割り代議員は必ずご出席ください。なお、クラブまたは部が議案を提出する場合は、東日本区定款第 6 条第 8 項の定めにより 4 月8 日（土）までに議案提案書を東日本区理事（東日本区事務所）にご送付ください。「議案提案書」用紙は、東日本区ウェブサイトからダウンロードしてください。

4【ブースター賞の申請】
目的:ブースター賞は、会員増強を奨励するため、個人とクラブに授与されます。
○ブースター　メンバー(個人)賞は、１年間に3人以上のクラブの新会員を増やしたクラブ会員に与えられます。
○ブースタークラブ賞は、1年間に6人以上のクラブ新会員を純増させたクラブに与えられます。
　表彰対象期間は、昨年の2月1日から今年の2月1日までです。
▼両賞とも各クラブでの申請の必要はありません。
　不明の点は、東日本区事務所にお問い合わせください

5【訃報】　私たちは、先達を覚え、歩みを止めないことを誓います。
　◇石丸隆章さん（千葉）
　　’23年2月21日逝去　享年　53

会員増強事業

「バケットリスト」でワクワク感を！

会員増強事業主任 佐藤節子

いつも皆様のご支援に感謝申し上げます。早いもので３月（弥生）になりました。
6月に向けてもう一度、会員増強EMC事業に３月の目標設定と行動計画➡リストアップの仕切りなおしはいかがでしょうか。行動はその後で。とにかく人に会いましょう。行動範囲も限られた中でなかなか思うようにいきませんが、それでもアンテナを張り巡らしながら人脈の開拓と興味付け、声掛けをあきらめないでいただきたいです。
「今年は人生の最高の年！」と「自分褒め！」を奏で、念じるってどうでしょうか。候補者の見込みだけでも朗報につながります、ダメもとで構いません、ワイズの認知度につながります。軽い足取りで３６５歩のマーチのように軽やかに行きましょう！
　提案します。「バケットリスト」を作ってみてはいかがでしょうか。ご自分が今から生ある間にやってみたいことのリスト作りです。例えば「高級料理店で食事をしたい」「ちょっとおしゃれをして歌舞伎を見に行きたい」「自叙伝を書きたい」などなど、何をしたいかご自分の好奇心と趣味を挙げます。まず身近なことから５０位挙げます。できれば期限をつけて実行する。それをもとに仲間づくりができワイズに向ける！ワクワクしますね。
２月、ワイズメンズクラブ国際協会第３回東西日本区交流会「語ろうワイズの未来」に参加しました。それぞれの地域性と個性はあれども、YMCA支援という目的は一つです。会員増強、会員確保については。どこでも同じ努力しているのだなぁと共通するものがありました。やはり同じ土俵で語り合うということは理解度が深まり合い、楽しいものです。新たなる視野が広がりました。
　今、近い将来を目指して、ワイズメネットさんたちのクラブ立ち上げに向けワイズメネット委員長を筆頭に利根川恵子次期アジア太平洋地域会長を講師に勉強会を粛々と進めつつあります。
どうぞ、静かなる熱きまなざしで応援をお願いします。
結びに、皆々様のさらなるご発展とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

国際・交流事業

国際･交流事業主任　利根川 太郎

弥生・三月となりました。三寒四温とは良く言ったもので、まだまだ寒い日もありますが春めいた陽気にホッとする日々も多くなりました。
　2023-24年度(次年度)のBF代表（BF文化交流代表）の応募が始まっていますので、ご案内いたします。ぜひ、皆様の周りでBF代表に応募したら良いと思われる方がいらっしゃいましたら、積極的に応募するよう働きかけてください。
Y’s MEN Internationalのホームページの
BUILDING FELLOWSHIPのページ
https://www.ysmen.org/our-work/programmes/building-fellowship/
に、BECOME A BF AMBASSADOR（BF代表エントリーのAPPLICATION FORM）がありますので、そこから申し込むことができます。

【BF代表とは・BF代表の種別】
BF（Building Fellowship）は、使用済み切手の換金、あるいは現金の拠出によって国際協会に集められた献金を、クラブ間の交流を深め、ワイズ運動のリーダー養成のために用いる制度です。BF代表（BF　Delegate）とは、この制度から補助を受けて、他地域のクラブを訪問したり、国際大会、地域大会、区大会等に出席することで国際理解を深め、国際親善を図ったり、ワイズ運動のリーダーになろうとする会員のことです。
BF代表には、会員一般向けのものとしてBF文化交流代表、およびBF大会代表の2種類があります。BF文化交流代表は、10日間以上30日間以内、訪問先のトラベルコーディネーターが企画する旅程にしたがって、他の地域のクラブを訪問し、日程が合えば国際大会、地域大会または区大会に参加するものです。旅行費用の75%　(最大2,400スイスフラン)が国際協会から支給され、帰国後は、国際協会に所定の報告書を提出します。また訪問で得られた経験、知見をクラブ・部・区内で積極的にシェアすることが義務付けられています。
BF大会代表は、国際大会、地域大会また↗

【国際・交流事業】

は他国の区大会に参加するもので、各地域に割り当てられた予算の中で地域会長が決定するものです。

【応募資格】
BF代表の旅行は、ワイズ運動の親善大使としてワイズ運動の発展に貢献するための旅行です。また、資格⑤にあるように、過去の業績、役職への報償ではなく、将来への投資であることが謳われています。

① ワイズ運動への高い関心、リーダーとなる可能性を有していること
② 所属するクラブが、国際協会への義務（半年報の提出・国際会費の納入など）を完全に果たしていること
③ 所属するクラブが、前年度に、80スイスフラン以上のBF献金または使用済み切手換金によるBF献金を20スイスフラン以上行っていること
④ 英語、もしくは訪問国の言語で十分な会話が出来ること
⑤ 過去国際議員、国際執行役員を務めたことのない者（区理事等、トップリーダーに在職中の応募は、相応しくない）
⑥ 正規のワイズユースクラブ、ワイズメネットクラブの会員、ワイズ運動に関わっているYMCA職員　もBF代表への応募ができる

【BF代表応募の手続きと選考】
・ BF代表に応募しようとする者は、5月１日までに、応募者本人が国際協会のウェブサイトを通じてエントリーする。
・応募者所属の区理事、クラブ会長は、BF Recommendation Form(推薦状)を国際協会のウェブサイトを通じて提出する。これは、任意ですが、応募者がBF代表に相応しいと判断した場合には、提出することが望ましい。
・代表の選考は、国際協会のBFEC(BF支出委員会)が行う。

この原稿は、西日本区「国際・交流事業の手引き」を参考に作成させていただきました。最後にこのことを記して感謝申し上げます。

ユース事業

ユース事業主任　衣笠輝夫

ユース事業委員会の大きな事業の一つに「オープンフォーラムＹ」（ＯＦＹ）があります。今期は５月２０日（土）に日本ＹＭＣＡ同盟会館において丸１日かけて開催することになりました。今回の「オープンフォーラムＹ」の内容はＹ’s×ＳＤＧsユースアクションチームの活動報告および見えてきた課題と展望の発題をしていただき、それを多くの参加者・他チームやワイズで共有し、共に考えその活動情報を拡散させていくフォーラムにします。昨年度Ｙ’s×ＳＤＧsユースアクションにエントリーされた１８チームから、数チームの発題をしていただくべく検討と準備を進めています。その目的のため１月２７日の第７回ユース事業委員会からＹ’s×ＳＤＧsユースアクションチームにオンラインで参加していただき、活動報告および見えてきた課題と展望を報告していただいています。
１月２７日の第７回ユース事業委員会では、山梨YMCAユースリーダー会代表の菊池央人さん「環境（ゴミ）問題イベントの実施と啓発活動」とＮＰＯ法人メタノイア代表理事の山田拓路さん「外国にルーツをもつ子どもの権利、認知拡大をめざして」の２チーム。２月21日の第８回ユース事業委員会では、とちぎYMCA高校生ボランティアグループ「つぼみ」リーダーの川口夏菜子さん「子どもの貧困：子ども食堂・学習支援」と中央大学YMCA国際ボランティアサークル「ひつじぐも」の関口遼さん「環境問題（ゴミ）啓発活動」の２チームからオンラインで報告を受けました。３月の第9回ユース事業委員会でもＹ’s×ＳＤＧsユースアクションチームに参加いただきオンライン報告を受けていきたいと思います。
　ユース事業委員会をオープンにしますので、多くの方に参加いただき傾聴していただきたいと思います。５月２０日（土）のオープンフォーラムＹは、ユース事業委員会で行っている内容の拡大版と考え、ＹＭＣＡやワイズ関係者以外に一般の方々、一般の大学生に呼びかけ、参加していただくべく広報にも力を注いでいく予定です。

次期クラブ会長・部役員ワークショップ開催！

2023年３月４日・５日
於：東山荘（御殿場）

「次年度に向かって熱き討論」
ＬＴ委員会　委員長　山下　真

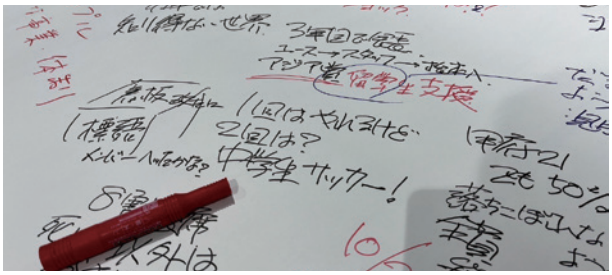
3月4日から5日、日本YMCA同盟東山荘にて「次期クラブ会長・部役員ワークショップ」を開催しました。76名が久しぶりの対面での学びと交流を楽しみました。
この研修会を「ワークショップ」としたのは「計画や活動方針は与えられるものではなく、共に意見を出し合い自ら作り上げるものだ。」という願いが込められています。
佐藤重良東日本区理事、利根川恵子次期アジア太平地域会長、大澤篤人日本YMCA同盟担当主事からそれぞれの組織の現状理解を深めました。
山田公平次期理事からは、次年度方針と運動に対する考え方を聞き、「あなたにとって豊かなクラブライフとは？そのためにあなたは何をしたい。」というテーマでワールドカフェ方法によるグループ討議が繰り返され、活発な意見交換が行われました。
そこでの充実した論議は、懇親会、その後の「部長を囲んで」に引き継がれながら、夜遅くまで笑い声の絶えない研修会となりました。

ワークショップの復習を兼ねて

●各講義の録画をご覧になれます。

◇東日本区の現況（佐藤理事）　約14分
https://www.youtube.com/watch?v=Of6j7zbMDxU
◇アジア太平洋エリア、国際の現況（利根川次期アジア太平洋地域会長）　約25分
https://www.youtube.com/watch?v=N4x0X8Gagns
◇YMCA理解･パートナーシップ(大澤東日本区担当主事)約19分
https://www.youtube.com/watch?v=ZQ2r4TFG0p0
◇東日本区次期理事方針（山田次期理事）　約34分
https://www.youtube.com/watch?v=s_FBVxg3V-Q
◇部事業主査の役割、事務手続きのポイント（大和田次期区書記、鈴木次期区会計、小林区事務所長）　約22分
https://www.youtube.com/watch?v=khlcfSfuBHI
◇ヒストリアンからのお願い（仙洞田ヒストリアン）　約5分
https://www.youtube.com/watch?v=UfsmWwNOuNg
◇ワイズメネットについて（松村ワイズメネット委員長）約4分
https://www.youtube.com/watch?v=stq5D9JRQtU

◇撮影・記録班のおかげで写真アルバムが完成いたしました。以下をクリックしてご覧ください。
〇http://30d.jp/ysjapan/21　合い言葉は　tozanso です。



研修会（ワークショップ）フォトアルバムから

トルコ・シリア大地震緊急支援募金

東日本区理事 佐藤重良

東日本区は100万円を募金目標に3月25日まで募金を実施いたします！

2月6日、トルコ南部のシリア国境近くで発生したマグニチュード7.8の地震とその後の大きな地震で、これまでに4万人以上が亡くなるなど、甚大な被害がでています。東日本区では、これについての日本YMCA同盟の募金(*)に賛同、協力し、目標を１００万円として、３月25日まで「トルコ・シリア大地震緊急支援募金」を実施いたします。

ご協力いただけるクラブ､個人の皆さまは、以下の東日本区の口座に任意の金額をお振込みください。東日本区事務所がまとめて日本YMCA同盟に送り､同盟から現地7カ所で活動中のACT Alliance(**)を通じて支援します。
募金は、現地生活物資支援、食料支援、建物調査、政策提言等に用いられます。
皆さまのご支援、ご協力をお願いします。

＜ゆうちょ銀行からの振込＞
口座名:ワイズメンズクラブ国際協会東日本区
ゆうちょ銀行　口座番号
００１１０－０－３６２９８１（ゆうちょ銀行振込取扱票にて振込）

＜他の銀行からの場合＞
口座名:ワイズメンズクラブ国際協会東日本区
ゆうちょ銀行０１９支店　当座預金　口座番号　０３６２９８１

（注）通信欄または振込者氏名欄に「トルコ」と記載してください。

*日本YMCA同盟のトルコ・シリア大地震・緊急支援募金についてのウェブサイト
https://www.ymcajapan.org/topics/20230222-2/

**ACT Alliance (アクト・アライアンス) は、日本YMCA同盟が加盟する「日本キリスト教協議会（NCCJ)」など、教派を越えた145の団体による連盟組織で、ジュネーブに本部をもち、現在は120カ国余で人道支援や政策提言活動を行っています。トルコ・シリア国内には7カ所の拠点をもっており、すでに震災直後から、支援物資の提供などを行っています。

［募金使途～日本YMCA同盟　ウェブサイトより］

１．食料、生活物資の支援
現地のモスクや教会、学校などに設置された避難所で、毛布やマットレスなどの防寒具や食事などを提供します。

２．建物調査
現地には、全壊はまぬがれたものの安全ではない多数の建物があります。ACTは建築の専門家を派遣して調査を行い、安全確保に努めています。

３．政策提言
もともと内戦の続くシリアには、支援チームも入りにくい状況があります。ACTは「政治を越え、人道的支援の規模拡大を進めるよう」政府に呼びかけるなど、提言活動も行っています。

YMCA報告

東日本区担当主事 日本YMCA同盟
大澤 篤人

1.ウクライナ関係
■ウクライナ避難者支援　報告動画配信中
この一年、YMCA同盟が行ってきた支援活動を約30分の動画に収録。全国YMCA・ワイズメンズクラブはじめご寄附くださった皆さまへの報告として、ぜひご覧ください。
https://youtu.be/OSDBH40AUO0

■「ウクライナ避難者生活支援　チャリティコンサート＆報告会」（学生YMCA主催）
【出演】竹佐古真希さん（弘前学院大学オルガニスト／学生YMCA共働スタッフ）
【日時】3月10日（金）18：30～20：00
【場所】日本キリスト教団荻窪教会
【参加費】1,000円
日本YMCA同盟の横山由利亜主事による支援活動報告も同時開催します。
▼申込み不要　直接会場へおこしください

2.世界のYMCAのトピックス
■【APAY】#EarthHour2EarthDay キャンペーン (3月25日～4月22日)
世界約190カ国で同日・同時刻に電気を消す消灯アクション「Earth　Hour（アースアワー）3/25開催」と、自分なりの方法で環境を守る意思表示をする「Earth　Day（アースデイ）4/22開催」。この2つの世界的イベントをつなぐ29日間にアジア諸国のYMCAは、それぞれの方法で気候変動アクションを行い、SNSで発信して共有していきます。ぜひ日本でも参加をお願いいたします。
https://www.asiapacificymca.org/joomla/index.php?option=com_content&view=article&id=777

■【APAY】アジア太平洋YMCA大会（第1報　インドで開催）
4年に一度、アジア諸国のYMCAが集う「アジア・太平洋YMCA大会」。第21回となる今年は、インドで開催されます。世界中のYMCAが「Vision2030」に向けて行動する中、アジア諸国はどうするのか。日本からもユースを含め多数の参加が期待されています。
【日程】9月13日～9月15日：ユース・アセンブリー／ジェンダーフォーラム
9月15日～9月20日：アジア太平洋YMCA大会
https://www.asiapacificymca.org/joomla/index.php?option=com_content&view=article&id=778

3.日本のYMCAのトピックス

■掲載報告【とちぎYMCAアフタースクール】「れんらくアプリ」の導入と活用
宇都宮市内で14拠点のアフタースクールを運営しているとちぎYMCAでは、手書きの連絡帳に替わる「れんらくアプリ」を活用中です。その導入の経緯や効果が企業サイトで詳細に紹介されています。
https://voice.buscatch.com/%e3%81%a8%e3%81%a1%e3%81%8eymca%e6%a7%98/

4 東日本大震災12年
■「東日本大震災　記念講演会」3/11開催（オンライン参加可）東京YMCA
東京YMCAと仙台YMCAで勤務経験のある木島上さんが「3.11を忘れない」をテーマに講演します。会場の東陽町センターでは、東京大空襲「江東区震災慰霊碑写真展」も同時開催予定です。（3/2～3/11）

6 関連団体情報
■広がれボランティアの輪連絡会議3/30勉強会　（3/30 参加者募集）
全国的のボランティア団体、青少年団体などによる「広がれボランティアの輪」連絡会議で、4月1日の「こども家庭庁」のスタートに向け、子ども・若者自らが取り組む活動を紹介する勉強会を開催します。3月30日（木）13:30～16:00。参加費無料です。

3月、4月以降の予定

◇3月強調月間 CS　Green Project
ワイズメネット
3月4日　次期クラブ会長・部役員ワークショップ　東山荘（～5日）
3月10日　国際協会設立100周年記念祝賀会　台湾　（～12日）

◇4月強調月間 W4W　RBM
4月3日　代議員会議案締切
4月8日　第3回東日本区役員会
甲府(～9日）現・次期合同

○東日本大震災3･11追悼礼拝と感謝の会　実施
オンラインでも参加できます
◇日時: 2023年3月11日（土）14:30～
◇タイトル「3.11追悼礼拝と感謝の会」
◇Zoomミーティングに参加する
https://us02web.zoom.us/j/81680362810
ミーティングID: 816 8036 2810
◇石巻広域ワイズメンズクラブ
会長　青木　満里恵　　担当　清水　弘一

3/11

○アジア太平洋地域ユースコンボケーション（AYC）
◇場所　ネパール・ポカラ
◇日時　２０２３年８月２５日から８月２９日

○第30回アジア太平洋地域大会・香港
◇2023年11月3日（金・祝）～5日（日）
◇香港中華YMCA九龍センター、ほか

国際選挙の結果

チャーミング・シェン氏（台湾）
＝次期国際会長

エリック・ブルーム氏（デンマーク）
＝次期国際会計

ジョウン・ウオン氏（香港）
＝次次期アジア太平洋地域会長

東日本区事務所便り

東日本区事務所長　小林　　隆
2023/2/28

入会者一覧

入会日	部	クラブ	入会者	紹介者･他
2023年1月9日	富士山部	伊東	青木敬博	稲葉富士憲

JEF献金

献金日	部	クラブ	献金者	金額
2023年2月6日	関東東部	千葉ウエスト	千葉ウエスト	10,000
			月間合計	10,000
			年間合計	1,116,023

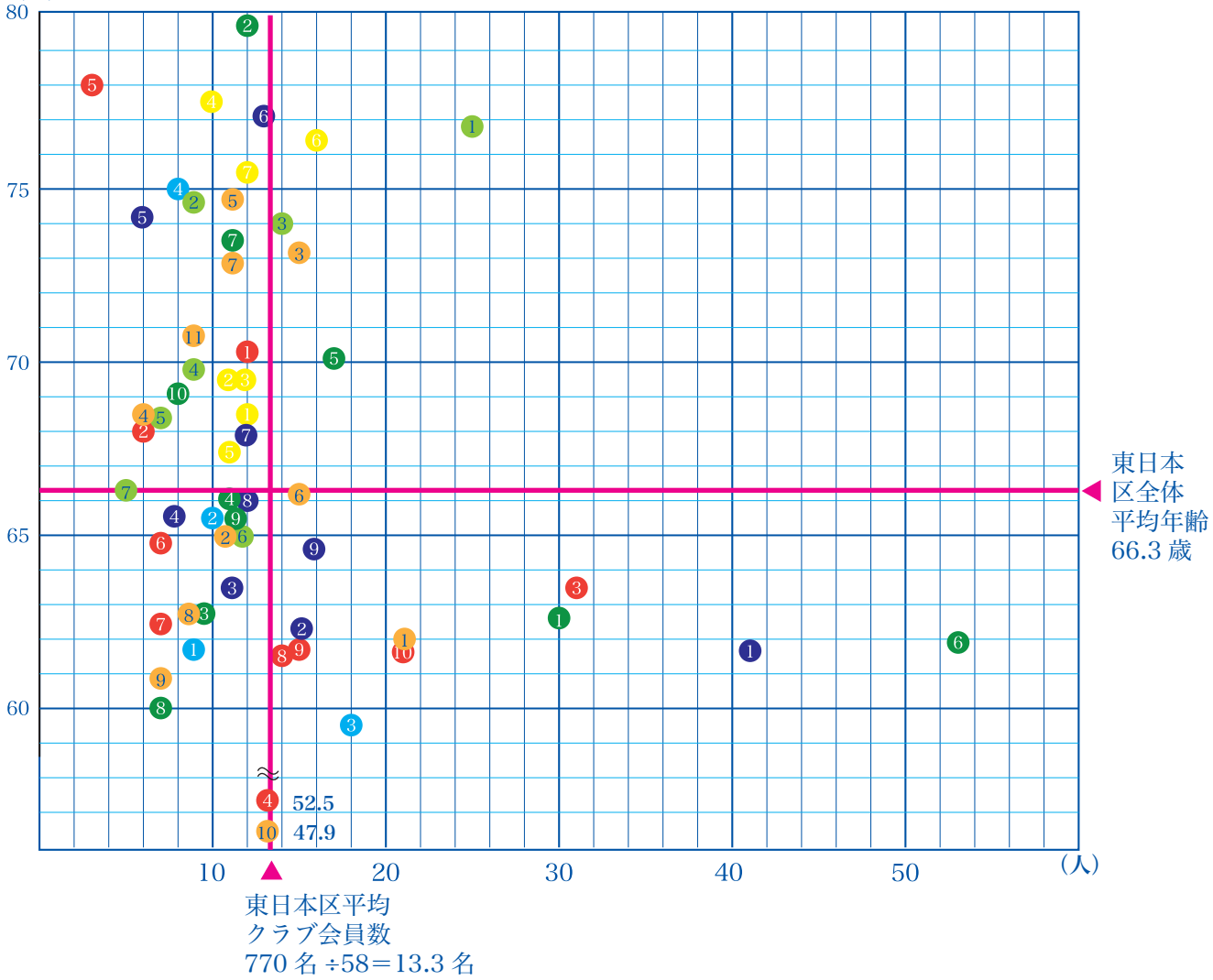
東日本区理事通信　2023年　3月号
発行人：東日本区理事　佐藤　重良
編集長：東日本区書記　清藤　城宏

掲載に関するお問合せは
①メール　kuniseido@gmail.com
② FAX　050-3737-5829

クラブ会員数と平均年齢　散布図

FYI 為・参考

２０２２年７月１日現在
東日本区事務所データを元に作成



北海道部
1. 札幌
2. 北見
3. 十勝
4. 札幌北
【白抜き数字】

北東部
1. 仙台
2. 前橋
3. 宇都宮
4. 仙台青葉城
5. 足利
6. 宇都宮東
7. 那須
8. もりおか
9. 仙台広瀬川
10. 石巻広域
【白抜き数字】

関東東部
1. 東京江東
2. 千葉
3. 東京グリーン
4. 埼玉
5. 東京北
6. 所沢
7. 東京ひがし
8. 川越
9. 茨城
10. 東京ベイサイド
11. 千葉ウエスト

東新部
1. 東京
2. 東京むかで
3. 東京世田谷
4. 東京町田ｺｽﾓｽ
5. 東京ｾﾝﾃﾆｱﾙ
6. 東京多摩みなみ
7. 東京町田ｽﾏｲﾘﾝｸﾞ

あずさ部
1. 甲府
2. 東京西
3. 東京武蔵野多摩
4. 松本
5. 東京ｻﾝﾗｲｽﾞ
6. 甲府２１
7. 東京八王子
8. 東京たんぽぽ
9. 富士五湖
10. 長野
【白抜き数字】

湘南・沖縄部
1. 横浜
2. 鎌倉
3. 横浜とつか
4. 厚木
5. 金沢八景
6. 横浜つづき
7. 横浜つるみ
【白抜き数字】

富士山部
1. 熱海
2. 沼津
3. 伊東
4. 三島
5. 下田
6. 熱海ｸﾞﾛｰﾘｰ
7. 御殿場
8. 富士
9. 富士宮
【白抜き数字】

FYI 為・参考

グループ A

66.3 歳＜，　＜13.3 人

東日本区平均年齢よりクラブ平均年齢が高く且つクラブ人数が平均より少ない

4. 札幌北	1. 仙台	2. 前橋	5. 足利	4. 埼玉	5. 東京北
7. 東京ひがし	11. 千葉ウエスト	2. 東京むかで	4. 東京町田ｺｽﾓｽ	5. 東京ｾﾝﾃﾆｱﾙ	7. 東京町田ｽﾏｲﾘﾝｸﾞ
2. 東京西	7. 東京八王子	9. 富士五湖	10. 長野	1. 横浜	2. 鎌倉
3. 横浜とつか	4. 厚木	5. 金沢八景	7. 横浜つるみ	5. 下田	6. 熱海ｸﾞﾛｰﾘｰ
7. 御殿場					

グループ B

＜66.3 歳，　＜13.3 人

東日本区平均年齢よりクラブ平均年齢が低い且つクラブ人数が平均より少ない

1. 札幌	2. 北見	4. 仙台青葉城	6. 宇都宮東	7. 那須	2. 千葉
8. 川越	9. 茨城	10. 東京ﾍﾞｲｻｲﾄﾞ	6. 東京多摩みなみ	3. 東京武蔵野多摩	4. 松本
8. 東京たんぽぽ	3. 伊東	4. 三島	8. 富士		

※東京たんぽぽは便宜的に平均年齢 60 としている

グループ C

66.3 歳＜，　13.3 人＜

東日本区平均年齢よりクラブ平均年齢が高い且つクラブ人数が平均より多い

3. 東京グリーン	6. 所沢	1. 東京	3. 東京世田谷	5. 東京ｻﾝﾗｲｽﾞ	6. 横浜つづき

グループ D

＜66.3 歳，　13.3 人＜

東日本区平均年齢よりクラブ平均年齢が低い且つクラブ人数が平均より多い

3. 十勝	3. 宇都宮	8. もりおか	9. 仙台広瀬川	10. 石巻広域	1. 東京江東
1. 甲府	6. 甲府２１	1. 熱海	2. 沼津	9. 富士宮	

2022年度承認プロジェクト

連番	申請者	パートナー	プロジェクト実施場所	プロジェクト名	プロジェクトの概要	背景	関連SDGs目標	TOF支援額 スイスフラン
1	フィンランドYMCA （フィンランド）	ガンビアYMCA	ガンビア・バンジュール	ガンビアYMCAユースエンパワーメント（能力発揮）センターの拡充	バンジュールのYMCAユースエンパワーメントセンタの新しい教室の建設を支援する。	フィンランドYMCAとガンビアYMCAの協力関係は、ガンビアYMCAが設立された1979年に遡る。2019年にスタートした「Work for Peace」プロジェクトは、ガンビアに在住または帰国した若者の被雇用能力を向上させることを目的としている。	8：働きがいも経済成長も	13,000
2	チェンマイワイズメンズクラブ （タイ）	チェンマイYMCA（サオヒンブランチ）	タイ・チェンマイ	森林生態系の保全と再生、持続可能な農業	環境、気候変動、天然資源保護、有機農業、二酸化炭素排出量削減のためのエネルギー保全について、若者、教師、村民を訓練する。	チェンマイ県にあるインタノン山やメークランでは、不適切な農林業により鉄砲水が発生し、土壌浸食や土地の劣化が加速しており、その結果、森林からの薬草を含む食料の収穫が減少している。さらに 、農家が化学肥料などを使用することで、農作物の安全性や栄養価に悪影響が出ている。このプロジェクトは、学校や村に統合農業や有機農業を普及させ、生産された農産物を低所得者層の支援や学校給食に使用することを目的としている。	13：気候変動に具体的な対策を	15,000
3	ホライゾンプロジェクト （ハイチ）	ハイチYWCA	ハイチ・ペシオンヴィル、ポルトープランス	セーフスペース	ハイチYWCAの5歳から19歳の少女たちのためのプログラムの継続と発展を支援する。2020年のTOFプロジェクト（No１）の後継プロジェクト。	西半球の最貧国と言われるハイチでは、中等教育を終える女子は約3割に過ぎない。ホライゾンは、2015年からハイチYWCAハイチと協力し、ポルトープランスのスラム街に住む最も弱い立場にある5歳から35歳の少女と若い女性たちを支援している。	4：質の高い教育をみんなに	13,500
4	リプトフスキー・ミクラーシュワイズメンズクラブ （スロバキア）	なし	スロバキア・リプトフスキー・ミクラーシュ	人材開発	地域の恵まれない若者20人に職業訓練を提供する。	スロバキアYMCAスロバキアは、法律扶助、ネットワーク作り、地域プロジェクトの促進、ボランティアの育成など、地域のニーズに対応しており、若いリーダーの育成に力を入れている。しかし、これまでほとんどのトレーニングは、対処的的で分散化されたものであり、すべての地域のYMCAに共通する体系的な集中トレーニングを導入したいと考えている。	4：質の高い教育をみんなに	14,980
5	パナッカパラムワイズメンズクラブ （インド）	なし	インド・パナッカパラム	女性の能力発揮（裁縫とコンピュータトレーニング）	トレーニングのためのミシンとコンピュータを購入する。	パナッカパラムは、貧しい農村で、住民のほとんどが農民や農業労働者である。若い女性の大半は初等・中等教育を受けているが、失業中であり、このような者が仕事に就き、より良い生活を送れるようにするためのトレーニングを提供する。	8：働きがいも経済成長も	10,000
6	西インド区 （インド）	カルペッタYMCA ケララ歯科協会 ＭＳスワムナザン基金 地域政府	インド・ワイナード	弱者への予防医療	貧しい村で保健衛生教育と意識向上キャンプを実施する。	社会的、経済的に遅れているワイナードは、教育的、環境的な要因から、健康問題に直面している。	3:すべての人に健康と福祉を	10,000
7	バルパライソYMCA （チリ）	バルパライソワイズメンズクラブ	チリ・バルパライソ	新型コロナパンデミックの影響を受けた脆弱な地域における、身体的、精神的、霊的な健康管理の提供	バルパライソYMCAで行われる健康的な食事と生活のトレーニングワークショップをコーディネートする。関連する専門家や物資の費用も含む。	新型コロナウイルスのパンデミックにより、貧富の差が広がっている。バルパライソ周辺での主な問題は、失業率の上昇、物価の上昇であり、人々の食生活や健康状態が悪化している。	3:すべての人に健康と福祉を	14,297
8	YMCA退職者会 （米国）	セブンカウンシルファイヤーズYMCA	米国・デュプリー（サウスダコタ州）	YMCA退職者会による全国奉仕プロジェクト。スーYMCAの小さな家とブランチの建設	サウスダコタ州シャイアン川のスー族居留地内に、4軒の小さな家と2軒の小さな住民センターのブランチを建設する。	この居留地は、米国で4番目に広いが、人々は110万ヘクタールの土地に、商業地から177キロメートル離れた小さな孤立したコミュニティーに分散して暮らしているため、買い物、通院に時間と費用がかかり、また、教育、雇用、社会サービス、経済開発活動にも支障をきたしている。厳しい気候と悲惨な生活環境は、青少年の絶望感を高め、アルコール依存症の割合は全米で最も高く、自殺率は全米平均の3.5倍となっている。	1：貧困をなくそう	15,000
9	世界YMCA同盟	セブンカウンシルファイヤーズYMCA	なし	世界中の恵まれない若者のデジタルエクイティーの推進	YMCAによる、貧困層のコミュニティーにデジタルリテラシーとコネクティビティをもたらす世界プロジェクトに専門家を参加させる費用を支援する。	新型コロナウイルスのパンデミック以来、デジタルコネクティビティとデジタルリテラシーの重要性が急速に高まっている。YMCA は、最も恵まれない若者たちにデジタル技術とデジタルアクセスを提供することで、彼らを貧困から救い、ますます広がるデジタル社会で自分の可能性を実現し、成功できるよう支援する。	1：貧困をなくそう	12,000

2021年度承認プロジェクト

連番	申請者	パートナー	プロジェクト実施場所	プロジェクト名	プロジェクトの概要	背景	関連SDGs目標	TOF支援額 スイスフラン
1	ラ・コロンバワイズメンズクラブ （カメルーン）	ムビアム・ニュービジョン多目的農業開発協会	カメルーン・バメンダ	国内の女性避難民のための有機農業と起業家精神育成プロジェクト	200人の若い女性の避難民に有機農業を教えるために、必要な道具や種などを提供し、研修期間中の旅費や宿泊費も支援する。	カメルーンの北西部、南西部は、社会的・政治的緊張による食糧危機の深刻な影響を受けている。これらの地域では、多くの人々が家を失い、仕事を失い、医療や教育を受ける機会を失っている。彼らは暴力や食糧難に耐え、悲惨な生活を送っている。	2：飢餓をゼロに	14,912
2	漢江ワイズメンズクラブ テグワ―ルドワイズメンズクラブ （韓国）	韓国YMCA、ルワンダ政府	ルワンダ・キガリ	ルワンダにおける養豚プロジェクト	200世帯に少なくとも1匹の豚を供給するプログラムの一環として、豚の購入、薬や飼料の購入、飼育員の給与や宿泊施設の購入、土地の賃借を行う。	ルワンダは経済的に絶望状態の国である。養豚は、一般市民が収入を得るための最良の活動のひとつとされている、豚は丈夫で、牛ややヤギなどの家畜に比べ、餌代や薬代が安く済むことが知られている。	1：貧困をなくそう	15,000
3	ジンバブエYMCA同盟	なし	ジンバブエ・ハラレ、タンダ	若者の起業家精神と社会的事業プログラム	20人の恵まれない若者への職業訓練と80の小規模農業ビジネスの立ち上げ	ジンバブエは長年にわたり、ほとんどの労働者が1日2米ドル以下の収入しか得られないという極貧の国であり、失業率は95%に近い。ほとんどの若年層は仕事を見つけることができず、苦難、生産的な活動の欠如、絶望感から、ジンバブエでは、薬物使用や10代の妊娠率が高くなっている。	1：貧困をなくそう	15,000
4	オステンスタッドワイズメンズクラブ （ノルウェー）	ケニヤYMCA 希望のオアシス	ケニヤ・ムビタ	希望のオアシス学校	ムビタ周辺の貧しい孤児たちのために建設された仮設校舎に窓とドアを設置する。	ノルウェーの独立系NGO「希望のオアシス」は、2013年からムビタにある貧困で親を持たない子どもたちのための学校を運営している。学校には約245人の生徒と15人のスタッフがおり、毎日2食の食事が提供されている。	4：質の高い教育をみんなに	14,980
5	ジョホールイーグルYサービスクラブ (マレーシア)	ジョホールYMCA スマート・ファーマビリティー	マレーシア・ジョホールバル	限界集落のための都市型農場	2つの福祉施設の住民が地域レベルで食糧を確保すべく農業に従事するための水産養殖/水耕栽培システム、関連するトレーニングツールを整備し、パートタイムのトレーナー、プロジェクトマネージャーを雇用する。	マレーシアの農業は苦境に立たされており、技術の進歩に追いついていない。貧困層は食糧難に苦しみ、新鮮な農産物は生産・流通経路の断絶により廃棄物として処理されており、この状況は、パンデミックによってさらに悪化している。	3:すべての人に健康と福祉を	13,373
6	グリーンアスターワイズメンズクラブ （インド）	サントワナ慈善信託	インド・バンガロール	サントワナ・ホスピス：貧しいがん患者のための緩和ケアセンター	ワイズメンズクラブ国際協会（YMI）が設立した、貧しい癌患者のための緩和ケアセンター(PCC)であるサントワナ・ホスピスの近隣で勉強や仕事をしている若い女性のための宿泊施設として、ユースホステルを建設する。このホステルの住人からの家賃収入は、緩和ケアセンターの運営費に直接充てられる。	インドでは、多くのがん患者は、診断に必要な経済的余裕も家族の支援もない。また、患者やその家族を支援する社会的、行政的な組織もない。YMIが設立したPCCでは、何百人もの失業中の若者に緩和ケアのトレーニングを提供し、緩和ケアワーカーとして生計を立てられるようにする。PCCの日々の運営資金として、ユースホステルを設立する予定である。	3:すべての人に健康と福祉を	15,000
7	ナーグプルオレンジシティーワイズメンズクラブ （インド）	インド中央地域YMCA	インド・ナグプール	Y飢餓撲滅運動	パンを借り、プロジェクト・マネージャーを雇い 、ナグプール市とその周辺の最貧困層への食糧配給をコーディネートする。	ナグプールでは、人口の約40%がスラムに住んでいる。289の合法スラムと135の非合法スラムがある。住民の多くは、人力車の引き手、 季節販売員、家政婦、出稼ぎ労働者で、月給は65スイスフラ ン以下、時には25スイスフランにも満たない。	2：飢餓をゼロに	14,297
8	サンチアゴYMCA （チリ）	サンチアゴワイズメンズクラブ	チリ・サンチアゴ	パンデミック時の女性・若者への支援-人材育成と就労支援	若者や女性に小規模なホームベースのビジネスを開発・運営する方法を教育し、パンデミック時に5つの優秀なプロジェクトアイデアにスタートアップ資金やインセンティブを提供し、全体として彼らの雇用可能性を高めること。	サンチアゴYMCAは、30年以上にわたってサンチアゴのセロ・ナビアとサン・ホアキンという貧困地域でプログラムを運営している。新型コロナウイルスのパンデミックにより、失業者の増加、労働時間の短縮、ロックダウンなど、すでに疎外されていたこれらの地域の経済的脆弱性を増大させた。	1：貧困をなくそう	14,947

2020年度承認プロジェクト

連番	申請者	パートナー	プロジェクト実施場所	プロジェクト名	プロジェクトの概要	背景	関連SDGs目標	TOF支援額 スイスフラン
1	ホライゾンプロジェクト（ハイチ）	推薦者： ジュネーブYサービスクラブ カナダ/カリブ海諸国地域 カリブ海諸国区	ハイチ・ペシオンヴィル	少女と若い女性のためのセーフスペース	5歳から19歳の少女と20歳から35歳の女性のためのハイチYWCAのプログラムの継続とさらなる発展を支援する。ユースセンタープログラム（セーフスペース、放課後教育、サマーキャンプ）、若い女性のためのリーダーシップアカデミー、健康診断等を提供する。	西半球の最貧国と言われるハイチでは、中等教育を終える女子は約3割に過ぎない、ホライゾンは2015年からYWCAハイチと協力し、スラム街に住む最も弱い立場にある5歳から35歳の少女と若い女性たちを支援している。	5：ジェンダー平等を実現しよう	15,000
2	シデルノYMCA（イタリア）	推薦者： ホアセンスワイズメンズクラブ（デンマーク）	イタリア・シデルノ	制限のない遊び - 障がいを持つ若者のためのスポーツと身体活動	ユニバーサル・スポーツ・プログラムに障がい者と健常者を参加させるためのプロジェクト・コーディネーター、コーチ、教師、車椅子対応のバスと運転手、様々なスポーツ用具などの費用を支援する。	シデルノはカラブリア州にあり、学齢期の人口の約10%がハンディキャップを持ち、定期的な運動をしている人は2%以下という地域である。現在、シデルノYMCAでは車椅子バスケットボールを運営しているが、今後2年間でテニス、卓球、セーリングなどを追加する予定である。	3：すべての人に健康と福祉を	12,036
3	ロシアYMCA	トンスベルグワイズメンズクラブ（ノルウェー） ノルウェーYMCA/YWCA ほか	ロシア・ヤロスラブリ	誰も置き去りにしない - 高齢者のウェルビーイングの発展とヤロスラブリワイズメンズクラブの創設	ヤロスラブリとダーチャのYMCAを通じて､主に高齢者と退職者のための健康的な余暇プログラムに資金を提供する。資金はペンキなどの消耗品の購入、会議スペースの適切な設備、参加者の交通費と食事代、講師とトレーナーへの支払いに用いられる。	年金制度が不十分で、高齢者のための社会的な機会が不足しているため、ロシア社会の高齢者は、うつ病や悪い習慣に陥りがちで、アルコールに依存する人も少なくない。この プロジェクトは、社会的な交流と生産的な余暇のために、より健康的な選択肢を提供するものであり、最終的にはヤロスラブリにワイズメンズクラブを作ることにつながることが期待されている。	3：すべての人に健康と福祉を	15,000
4	インドYMCA同盟	ワイズ・インド地域	インド地域各地（9区）	若いピースメーカー	若者向けの平和構築と紛争解決のためのモジュール設計を支援し、脆弱なコミュニティーで地域プログラムや特定の平和構築プロジェクトを実施するために要請されています。	インドは、数多くの民族が存在し、教育や経済状況もさまざまである。特に貧しく、教育水準の低い地域では、他の階層、カースト、文化に対する不信感や差別、時には憎悪の伝統が世代を超えて受け継がれ、場合によっては分裂をもたらすこともある。このプロジェクトの目的は、若い世代に紛争を前向きに解決する能力を与え、将来的に紛争を回避することである。	16：平和と公正をすべての人に	15,000
5	ティルヴァラワイズメンズクラブ（インド）	ティルヴァラYMCA	インド・ティルヴァラ	洪水被災地の無職の女性・若者のための生計プログラム	ケララ州の洪水で被害を受けた家族が、家畜の飼育を通じて経済的に自立できるようにする。資金は、家畜の供給、トレーニング、標準的な獣医費用をカバーするために用いられる。	ケララ州地域は洪水が発生しやすく、2018年、2019年ともに大きな水害を経験した。主に農業が盛んなティルヴァラ地区では、家や物的財産を失ったことに加え、収入を得る能力という点でも数多くの家族が深刻な損失を被った。	8：働きがいも経済成長も	15,000
6	韓国全北区（韓国）	ルアンパバーンYMCA（ラオス）	ラオス・ルアンパバーン	ラオス、学校・住居リノベーション	学生寮、カフェテリア、学校の教室の改修に必要な資材の提供や、改修後の設備の充実を支援する。また、困窮地域の住居の改良も行う。	2019年初め、韓国の「ワイズメンズドクターズ」がラオスを訪れ、困窮者に無料医療サービスを提供し、また、同伴グループが学校と住居の改修を行った。しかし、これには、時間的・金銭的な制約があったので、韓国地域では、今後も学校を中心にラオスでの改修活動を続けていきたいと考えている。	4：質の高い教育をみんなに	30,000
7	ボゴタワイズメンズクラブ（コロンビア）	ボゴタYMCA	コロンビア・ヒアルドー	児童・青少年の性的搾取の防止	ヒアルドーの10代の若者の性的搾取を監視し、阻止することを目的としたYMCAのプログラムの一部を助成する。計画されている活動には、脆弱な若者のためのスキルアップ、リーダーシップのトレーニング、それに伴う家族のワークショップ、自治体機関との連携が含まれる。	ヒアルドーは、経済的に恵まれた人々が訪れるリゾート地である一方、現在の失業率が50%を超えるような実質的な貧困の地でもある。まさに、性的搾取、売春、人身売買に最適な環境であり、この町の貧しい10代と20代の若者は高いリスクにさらされている。	10：人や国の不平等をなくそう	29,948
8	モンテビデオYMCA（ウルグアイ）	推薦者： モンテビデオYサービスクラブ	ウルグアイ・モンテビデオ	貧困地域の子どもたちへの関心を高めるための10代のLT	モンテビデオ郊外の貧困地域シウダー・デラ・コスタでは、親（主に独身女性）がモンテビデオで長時間働いていて、子どもたちを長時間放置せざるを得ない状況にある。子どもたちに健全な放課後活動の機会を提供するYMCAのプログラムを継続する。	このプログラムは、当初10年間実施される予定であったが、開始から10年目を迎え、このプログラムを継続することが非常に重要である。そのためには、将来こ のプログラムを運営する青少年リーダーを育成し、その能力を身につけさせることが急務となっている。	16：平和と公正をすべての人に	11,000

第26回東日本区大会

かふふ・く

□第26回東日本区大会のご案内です。

1. 期日　2023年6月3日&4日

2. 会場　山梨県甲府エリア
（JR甲府駅からクルマで20分）

3. 登録申込み
2023年3月15日から4月21日

4. ご案内等について
①東日本区全会員様あて、東日本区大会ご案内パンフレットをDMでお送り致します。
②角2封筒に、緑色のパンフレットとシロクロの申込み書がはいっています。
③主なスケジュール
詳しくはパンフレットをご覧ください。
6月2日　チャリティゴルフ大会
前夜祭
6月3日　代議員会
ワイズメネットアワー
フレッシュワイズの集い
担当主事会
ユースの会
開会式
記念講演　石丸謙二郎氏
晩餐会
6月4日　東日本区アワー
エクスカーション（3コース）

5. 申込み方法は2つ
インターネット申込みサイト
申込み書をFAX

http://www.kofu21/taikai_26/

あなたのポストに、届きます
3月12日～15日頃

封筒の中には、パンフレットと
申込み書が入っています